

「また明日」と笑顔で言いたくなる学校づくり

～優しさと強さ、しなやかさとたくましさを併せもつ生徒の育成～



次年度に向けての準備

南砺市では、令和6年度から部活動の活動時間が原則平日 16:40 分までになります。

また、市立図書館と学校図書館の共通システム化により、生徒は一人一台タブレット端末を利用して本の貸し出しや返却ができるようになります。

井波中学校ではこれまでの日課時限表を見直し、教育効果を最大限に発揮できるように準備を進めています。2月中旬から、新日課時限表で試行中です。生徒会でも「Keep time Week」を実施し、時間を守って有意義な学校生活を送れるようチャレンジ中です。

図書館デジタル化推進事業

市立図書館と学校図書館の共通システム化



第4次南砺市子ども読書活動推進計画

～子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものである～

●市立図書館と学校図書館の共通システム化

- 現状**
- ・市立図書館の図書館システムは共通、ネットワーク化されている
 - ・学校図書館は、16校中10校でシステム化(システムは共通していない)、ネットワーク化されていない
 - ・市立図書館と学校図書館は、ネットワーク化されていない

- 今後**
- ・学校図書館のネットワーク化 (共通システム化)
 - ・市立図書館と学校図書館の共通システム化
 - ・図書カード、資料バーコード(ICタグ)を共通化 → 市立図書館に「自動貸出機」導入 (コロナ対策)

- ・デジタルで読書履歴・記録確認
- ・学校図書館に読書シール(ノートに添付)
- ・読書量や履歴が確認でき、励みになる
- ・知識が蓄えられる



<読書タイム>

<南砺市立図書館資料より>

予約の本 学校に配達

南砺市の5図書館

児童生徒、利用し

4月から施設、病院

南砺市は4月から、市内小中学校、義務教育学校16校の児童生徒が、個人貸与されているタブレットなどを除き、図書館のホームページで予約した本を学校まで配達するサービスを始める。市町村別に地域づくり協議会の事務所がある交流センターや病院にも届け、県内では舟橋村が実施しているが、市町では初めて、図書館まで受け取りに行く手間を省くことで、貸出率に繋がると期待されている。

南砺市内は、福光の中央図書館や井波図書館、5つの市立図書館があり、蔵書数は約50万冊で、市の郷土の本が充実している。また、児童、生徒が読みたい本をインターネットで予約した後、図書館まで取りに行く必要がなくなった。市は4月から配達車を入れ、児童、生徒がホ

バスを始める南砺市中央図書館

<令和6年1月12日(金) 富山新聞朝刊より>

Keep time week

令和5年度 後期代議員

<ねらい>

開始時刻を守り、余裕をもって生活するとともに、時間を守って行動しようとする意識を高める。

<期間>

2月19日(月)～2月22日(木)

<活動内容>

①朝の会開始時(8時10分)、5限目開始時(13時25分)、帰りの会開始時(15時45分)までに着席している人数をチェック

<生徒会企画「Keep time week」>